

## 実践 森づくり技術講座 第4回

開催日：2018年11月17日（土）

開催場所：鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

主催者：FIT 森林塾

### 一文紹介

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第5回は「材木の運搬と道づくり」をテーマに開催しました。

### 公開記事

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ連続講座。第5回は、当初9月に予定していた「材木の運搬と道づくり」（9月は悪天により室内講義に変更）をテーマに催しました。

（本文）

今回のテーマは「材木の運搬と道づくり」。当初9月に予定していた（悪天候のため室内講義に変更）分を、スライドして実施しました。

技術講座も残り2回となり、これまでに学んできた技術を総動員しながら、材運びと道づくりを行いました。

今回の実習場所は鳩ノ巣フィールドのなかでも比較的標高の高いところでしたので、準備体操の後、紅や黄色に色づいたフィールドを楽しみながらゆっくりと登って行きました。

フィールド到着後、材の運搬技術に関する講義とロープ結び方の復習を行った後に、本日午後の道づくりで使う材の移動を兼ねて材運びを行いました。途中で急カーブが続く谷筋があり、移動に苦戦する場面もありましたが、チーム内の呼吸を合わせて難所も突破し、無事、予定地までの運搬を完了させました。

お昼を挟んで、道づくりです。まず、今回の道づくりを行う箇所にて、どこにどのように横木を設置するのかのイメージの共有から始めました。チームメンバーで完成型のイメージを共有した後に、道の長さに合わせ材を切ったり、材を設置する場所を唐鍬を使って掘り下げたり杭で固定したりして、材が安定的に据え置けるようにしました。横木を設置した後に、土の中に混じった落ち葉や草木の根などの有機物を取り除き、代わりに石をつめ、その上に土を被せる作業を丁寧に行いました。これで、この区間も末永く使えるでしょう。

最後に足場を固めて整地して完成。チームワークで完成させた道を見て、受講生のみなさん、とても感激されていました。

今回の講座を受けて、参加者の皆さんからは、

「より正しい道具の使い方を身に着きたい」

「材運びはみんなとの息があうとスムーズにいき、とても気持ちよかった」

「斜面やカーブでの材運びが難しかった」

「道づくりの技術をもっと学びたい」

「材運びも道づくりもグループ内のコミュニケーションがとれて楽しかった」

といった感想をいただき、終了しました。

報告者名：実践・森づくり技術講座事務局：松浦 重徳



紅葉を見ながらひと休憩



道づくり予定地までの材の運搬



大鋸を使って材の寸法合わせ



道づくり風景



完成箇所（1）



完成箇所（2）